

精神看護学実習	3年・後期	2単位2週間	講師 佐藤 亜紀
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310903

1. 授業のねらい・概要

学生は、精神看護学の基礎となる、精神医学の基礎的な知識（精神症状および精神状態像）を把握し、代表的な精神障害について、病態、症状、経過、診断、治療、看護等の概略を理解し、精神の健康問題をもつ人への看護を展開するための知識と方法を理解する。

2. 学修の到達目標

1. 精神症状について述べるができる。(D-2)
2. 主な精神疾患の治療と看護が述べるができる。(D-2)
3. 精神障害の治療法について述べるができる。(D-2)
4. 精神科リハビリテーションについて述べるができる。(D-2)
5. 精神障害者の家族支援・家族看護について述べるができる。(D-2)
6. 精神疾患患者の看護過程を展開できる。(D-2)

3. 授業の進め方

実習施設5病棟に学生配置し、患者とのコミュニケーションや関わりを中心に実習をする。

【アクティブ・ラーニングの実施の有無】

アクティブ・ラーニング型科目（実習）である。

【ICT活用の有無】

ICTは活用しない。

4. 授業計画（実習/実技）

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習期間：3年次後期の2週間 2. 実習施設：田中病院 3. 実習内容：実習要項の通り |
|--|

5. 成績評価の方法・基準

実習態度・記録物（記録内容・提出物期限を含む）など、病院実習に関わる事項（80%）、筆記試験（20%）で評価する。病院実習に関わる事項および筆記試験の合格基準は各60%以上とする。どちらか一方でも合格点に達しない場合は、単位認定できない。

評価対象物は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に、5段階評価で採点する。

尚、ルーブリック評価表に関する詳細は、実習オリエンテーションで別途説明する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：武井麻子（2022） 系統看護学講座 精神看護学1 精神看護の基礎 医学書院
武井麻子（2022） 系統看護学講座 精神看護学2 精神看護の展開 医学書院
参考文献：随時紹介する。

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

実習要項で定める事前学習課題について手書きのノートを作成し，実習初日に提出する。不足がある場合には，履修できないことがある。

8. 受講上の留意事項

先修条件：看護倫理・精神看護学方法論・チーム医療論

必要な感染症対策が出来ていない者は履修できないことがある。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験実施の際に傾向や解答を口頭で説明するか，試験実施後解答を掲示する。

10. 認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

11. 本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

医療機関および行政機関等における看護師・保健師としての実務経験を活かして，実習の指導を行う。